

(様式)

## パブリックコメント実施結果報告書

令和2年4月10日

担当課	緑豊かな自然課
担当者	森原
連絡先	7979

パブリックコメントのテーマ：鳥取県生物多様性地域戦略（案）について

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
－ (－)	3 (1)	35 (4)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	6 (4)	44 (9)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	19	<p>○国立公園や国有林の利用について問い合わせ先がわからない。環境省や林野庁のホームページのリンク先を明記する等、県民がどこに連絡すればいいのかわからないのか、どのような申請・許可が必要であるかをフローチャートでまとめることによって容易な利用・事務の省力化が図れると考える。</p> <p>⇒ 関係するリンク先を明記しました。</p> <p>○表現が専門的で何を言おうとしているのかわからないので、もっと分かりやすい表現に変えるべきではないか。</p> <p>⇒ 文章を修正しました。</p> <p>○守り・残すだけでなく、自然環境を回復させるということを入れてみるのはいかがでしょうか。</p> <p>⇒ 追記しました。</p> <p>○鳥取県の特徴として、大山、海岸、砂丘など特徴的なものを強調してもいいのではないかと思う。</p> <p>⇒ 追記しました。</p>
既に盛り込み済み	11	<p>○SDGsで本質的に重要なのは形式的な目標達成よりもSDGsを使って既存の問題解決を進めていくことではないか。また、地域戦略であるのだから、県内の実情だけでなく少なくとも何故そうなっているのかを分析し、“とっとりらしい”問題解決を提案するべきではないか。</p> <p>○聞こえはよいが極めて抽象的な言葉である共生がどのようなことを指すのかをもっと明確に示すべきなのではないか(例えば、利益を自然にも分配する鳥取)。</p> <p>○自然公園の保全活動をしてもらえる県民を増やしてほしい。</p> <p>○生物多様性国家戦略2012-2020の最終年度であり、次期2030年目標の草案が発表されたことを踏まえて、なるべく早い段階で生物多様性条約が示した2030年目標に対応した改定が必要ではないか。</p>

今後の検討課題	1 1	<p>○戦略策定後の取組体制や、戦略更新の検討の際には、環境審議会の自然保護部会、鳥獣部会の参画を検討すべきである。</p> <p>○生物多様性に配慮した取組として、発注者や工事関係者のだれが、どのタイミングで県へ照会をかけるか、有識者や保護団体が調査する費用を誰がいくら支払うのかなどが不明である。照会を怠った場合のペナルティや工事中に生息地と判明した場合の対応等も疑問。また住民が、工事関係者が適切な手続きを行っていることをわかりやすく知る仕組みが必要ではないか。</p> <p>○希少生物の生息域である場合、回避方法や生物多様性オフセットの事例を示し、工事に係る経費を予め見積もることが出来る仕組みが必要だと思います。工事が遅延なく進むように配慮をお願いしたい。</p> <p>○近畿地方で起きているオオサンショウウオのハイブリッド化のように、人が他の地域から持ってきた生物を放すことによる遺伝子的攪乱の危険性を子どもたちに教える必要があると思う。</p> <p>○耕作放棄地や所有者不明の森林の問題を解決し、里地里山に住む人を増やしていかなければならない。</p>
対応できない		
その他上記に分類できないもの	3	<p>○良い取組であり、今後も推進してほしい。</p> <p>○県民の取組について、非科学的な看板が現地にある事例が紹介してある。行政の立場として、これを間接的ではあるが例示・紹介するのは適切ではない。</p> <p>○「地域連携保全支援センター」という名称は「生物多様性地域連携促進法」における「地域連携保全活動計画」で示した「地域連携保全活動」を支援するものではないのか。そうであれば、計画を作る必要があるのではないか。</p>
計	4 4	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットで の公表（担当 課による）	報道機関への提 供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等 への報告	その他
○		○			○ (審議会への報告)